

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有一選

待ちわびた実家の再建始まりて進む工事の木の香も清し
忽領 島田 廣子

休日は重機ダンプも始動せず 春の雲雀の囀り高し
安永 守住 孝子

空港のロビーを歩く幼子の赤いリュックが揺れて楽しげ
安永 山下たか子

一碗のどご味噌汁なれど大地震を生き抜いた味想い頂く
馬水 西田 正巳

はや二年復興の声まだ遠く荒れた更地を通る悲しさ
小谷 今吉マキ子

主なき更地となって丸二年 草花あまた咲くもあだ花
安永 福田 圭子

誘いあい太極拳を楽しんだ体育館は跡形も無し
宮園 金子フム子

イベントのメダカすくいは懐かしいシャツをまくりて子どもと競う
広崎 瀬戸サイ子

母の日に遠くに住む娘花贈る 日ごろの不満瞬時に去れり
安永 川野 光子

手づくりのいちごジャムを美味しいと 夫がほめる春の昼食
赤井 鈴木 駒

お願い 投稿は、一人一首でお願いします。

俳句

河野 全平 選

白内障治り五月の風光る
捨てられて藪となりたる田圃かな
赤井 西山恵美子

藤棚や客の流れを追ふ緋鯉
カリカリと母の伝授の胡瓜もみ
上陳 永田巳智子

駆け抜けてスクラ前線去りにけり
里帰り五月雨の中母待てり
馬水 西田 正巳

甘酒や切子涼しく友は飲む
医者通ひ木下闇をくぐりけり
木山 今吉美江

葉桜やあいさつうれし一年生
一句鑑賞
田原 辻ヶ峰子

川柳

布田川左門 選

古里はまあるいポスト麦の秋
一句鑑賞
光永 忠夫

『お題』 はらはら
南北の握手はらはら汗にぎる
赤井 増岡 酔酔

黄色い帽子ママはらはら声かける
物価高妻の機嫌は下り坂
広崎 松原まゆみ

※参考例
せごどんにはらはらあした待ち遠し
小谷 まさのり

『お題』 自由詠
ジョギングに挑戦狙いは旅行券
田舎もん老いは車に道ゆずる
ジョギング老女
赤井のすずめ

通院用まだ捨てきれん免許証
※参考例
子ができて川の字なりに寝る夫婦
待合室三太郎

お知らせ 川柳のコナーはペンネームを6字以内とします。
川柳のお題 「鉛筆」または自由詠

益城の文化財 町文化財保護委員会



砥川

有馬家住宅(2)

本紙五月号で紹介した有馬家は主屋の他に「蔵」、「長屋門」、「納屋」が残されています。

長屋門を入ると正面に、大輪の菊花の「コテ絵」、土山瓦を使用したなまこ壁の腰部と漆喰塗り白壁の美しい「蔵」があります。妻側三間、桁行四間の二階建てで、一階の内壁には米蔵の特徴である「荷摺り板」が貼られています。二階の大黒柱上部に釘打ちされた棟札には「明治廿一年旧二月有十二日」の墨書が確認されます。また、大工棟梁の他に石工の名前も記載されています。平成二十八年にこの蔵を調査された尾道市立大学の渡邊義孝氏は、「鏝絵と回り番付の蔵・被災しても残したい地域の文化」と題してインテリア誌に発表。姿の美しさ、構造や工法の特徴を図面と共に紹介されました。